



Homeland
Security

US-VISIT

アメリカへの門戸を開き国の安全保障を確保する

US-VISIT は海外の国務省査証発給部門で始まる安全保障対策の一環であり、米国から/への発着までを包括します。デジタルでインク不要フィンガースキャンおよびデジタル写真などのバイOMETRICSを使用し、米国への旅行に査証が必要な訪問者の身分証明を各地点で照合して、我が国の国境を越える人物が査証取得者と同一人物であることを確認します。さらに不法滞在者を認知するのにも役立ちます。また訪問者が旅行に必要な文書を紛失したり盗難にあった場合にも、バイOMETRICSによって訪問者の身分証明を確実に行えます。

US-VISITの手続きは、外国のパスポートまたはビザをお持ちの旅行者に適用されます。

どの旅行者にとっても、その手続きは敏速で簡単です。

US-VISIT の目的は以下のとおりです：

- ★ 我が国の市民や訪問者の安全保障を強化する
- ★ 合法的な旅行や貿易を円滑にする
- ★ 入国管理システムの統合性を保証する
- ★ 訪問者の個人的なプライバシーを保護する

US-VISIT の手続きには、旅行に関する情報や「バイOMETRICSの識別名」(簡単なインク不要装置を使ったデジタル・フィンガースキャンなど)を訪問者から入手することが含まれ、国務省領事館員や米国税関および国境保護職員が入国許可を決定する際の支援をします。

米国へ旅行する訪問者の身分証明は、当事者の発着時に照合されます。これら出入国手続きは、より厳重な安全保障対策の必要性、およびビジネス、勉強、家族訪問や観光といった目的で我が国を訪れる何億もの合法的な訪問者を毎年受け入れる手続きの円滑化への継続的責任を意味します。インク不要デジタル・フィンガースキャナーで訪問者の「バイOMETRICS」を保存することで、この照合手続きをより敏速に、かつ名前だけのデータベース検索よりも確実に行えるのです。

査証の申込み時

米国へ旅行するための査証取得が必要とされる訪問者は、査証発給部門で個人面接を受けなくてはなりません。この過程には、両手の人差し指のインク不要装置でのスキャンとデジタル写真撮影、つまり **US-VISIT** への登録が含まれます。この情報を基に、国務省領事館員が査証発給の決定を行います。

到着時

到着手続きのほとんどは以前と変わらず、海外からの訪問者にもよく知られているとおりです。空港あるいは海港では、パスポートや査証といった旅行の必要書類は検閲され、米国税関および国境保護職員が訪問者に米国滞在に関する特定の質問をします。



手続き強化の一環として、訪問者は両手の人差し指をインク不要装置でスキャンし、デジタル写真を撮影します。この情報を基に、米国税関および国境保護職員が訪問者を許可するべきかどうかを判断します。これらの手続き強化には、ほんの数秒しか要しません。査証発給部門で US-VISIT に登録を済ませた訪問者は、両手の人差し指のスキャンと写真撮影を再度繰り返して、入国者が査証取得者と同一人物であることを確認します。

